



Title	第四回觸媒討論會記録刊行に當りて
Author(s)	堀内, 寿郎
Citation	觸媒, 12
Issue Date	1955-12
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/22466">https://hdl.handle.net/2115/22466</a>
Type	editorial
File Information	12_Kankou.pdf



## 第四回觸媒討論會記錄刊行に當りて

觸媒討論會も何時か回を重ねて第4回となりましたが、その間の躍進振りは既に慶伊氏が「化学と工業」\*に講演数参加人員及び討論数を挙げて報告された様に可成り目覚ましいと云えます。専門を同じくするものが相会して違つた角度から共通の問題を討議することは、単に觸媒に限らず何れの科目に取つても甚だ有益でありその發達に欠くべからざるものでありますが、討論が記録されずに、薄れゆく参加者の記憶にのみ止つてゐるのでは、正確に記録された場合に比べて効果半減どころではないでしょう。

Faraday Society の General Discussion の記録を見る度に、それが単に或る時期の斯学の狀況を示す標石に止らず、その後の進み方の頼もしい道しるべに、又向上のしつかりした足場になつてゐる事を感じます。我国にもこんなものが欲しいとゆうことは多くの人の願であつたでしょうが、実現は甚だ困難でありました。今回討論會参加の諸兄を始め、お世話させて戴いた觸研所員の渾然一体の協力によつて討論會の記録が「觸媒」の特集号として發刊の運びに至つたことは誠に御同慶に堪えません。

これの内容が觸媒研究の道しるべとなり、足場となることは素より望ましい限りであります。これをものするに至つた経験とその出来工合とが今後の資料となつて同様のものを生み出す手続きを進歩させ困難を少くしてゆき、遂にそれが討論會のきまりきつた付物になることは更に望ましい事であります。

ここに至るまでの御協力に対し満腔の謝意を表して御挨拶と致します。

北大觸媒研究所長

堀 内 寿 郎

\* 慶伊, 「化学と工業」, 8卷11号, 479頁 (1955).